

伝わる文章の書き方 セミナー

消費税率が数年後に10%に引き上げられ、対策を講じなければ事業者の納税額は増加する一方です。お客様への連絡や、社内のコミュニケーション能力を向上させ売上を上げること、事業計画や補助金を活用して事業資金を確保することが非常に重要になってきています。

昨年好評だった伝わる文章の書き方（=文章マナー）が身につくセミナーを今年も開催します。営業メールや社内文書、資金獲得のための経営計画書や補助金申請書をサクサク仕上げるために、プロの技を学んでみませんか？

各地で“満席”の人気講座となっています。是非ご参加ください！

★こんな方におススメです★

- ・メール、報告書、企画書、経営計画書、補助金の申請書などをサクサク書きたい
- ・ブログ、SNSなどでの情報発信力を高めたい
- ・自分の文章にあまり自信がない
- ・とにかく文章の基礎力をつけたい



たった**3時間**で
伝わる文章を書く
コツがつかめます！

講師：**赤羽 博之** 氏

「文章は引き算で書く」

「相手のアタマの中に絵を描くように」

など、誰も教えてくれなかった文章の書き方を大公開！

【プロフィール】

文章マナー研究家

伝わる文章の書き方・講師

フリーランス編集者&ライター

合同会社耕文舎 代表

朝日カルチャーセンター講師

ライター・エディタースクール「LETS」講師

自分史活用アドバイザー

(一般社団法人 自分史活用推進協議会認定)

【略歴】

1956年神奈川県生まれ。早稲田大学卒業後、出版社、メーカー系の制作会社、環境NGOを経て、1999年フリーの編集者に。

2002～08年イオンカード会員向け月刊生活情報誌『mom（モム）』編集長。2008～12年「nikkei net」企画制作ディレクターを務める。現在は「伝わる文章」の講師として、ライタースクール、大学の公開講座、研修・セミナーなどで活動。並行して年2～3冊ほどの単行本にブックライターとしてかかわる。（2014年12月現在）

【著書】

『すぐできる！ 伝わる文章の書き方』

(日本能率協会マネジメントセンター／2013年3月刊)

日 時：平成28年 **7月11日**(月)

受付13:00 開始13:30 終了16:30

会 場：豊岡市商工会館 2F 大会議室

(豊岡市日高町日置65-1)

参加対象：商工会員等

参加費：無料

定 員：40名 ※定員に達し次第募集を締め切ります

主な内容：伝わらない文章の「3大要因」とは？

文章マナーを身につけ、伝わる文章を書く！

文章力が確実にアップする2つの方法

(質疑応答 30分)

主 催 豊岡市商工会

お問合せ 〒669-5311

兵庫県豊岡市日高町日置65-1

TEL 0796-42-4751 FAX 0796-42-4350

伝わる

文章の書き方

セミナー

ベテラン編集者が文章力アップをお手伝いします。

一生懸命書いたのに、「思い」が読み手に伝わらない。
こんな経験は、ありませんか？
あなたの文章は、なぜ伝わらないのか。なぜ読まれないのか――。

仕事に就く社会人が身につけるべき**基本的かつ重要なスキルは文章力**。
それは書くだけでなく、考える、話す、伝えるなど**コミュニケーション全般に通じるマンパワー**の土台です。

伝わる文章の書き方は、誰でも身につけられる**“一生モノ”の財産**。その具体的な方法を分かりやすく、楽しくお伝えしていきます！

ビジネス文書やビジネスメールに、SNSやブログによる情報発信に、すぐに活用できるポイントを**分かりやすく**お伝えする150分。
Q&Aの時間もしっかり確保して、よりご満足いただける内容をめざします。

文章を書くのは苦手という方、伝わる文章を書く方法（=**文章マナー**）を身につけたいという方のご参加を、心からお待ちしております。

（伝わる文章の書き方・講師／赤羽博之）

伝わる文章の書き方セミナー 参加申込書

お申込方法

FAXもしくはお電話でお申込みください。
TEL 0796-42-4751 FAX 0796-42-4350

【事業所名】

【受講者名】

【住所】

【業種】

【電話番号】

【FAX番号】

【メール】

※ 記載された個人情報は、セミナー講習会の参加状況の管理やご案内のみに利用いたします。
※ 申込みされた方は、当日会場にお越しください。定員超過等の理由により、受講いただけない場合は連絡いたします。

豊岡市商工会 経営支援課

TEL 0796-42-4751 FAX 0796-42-4350

mail 代表 : info@ingnet.jp URL <http://ingnet.jp>

〒669-5311 兵庫県豊岡市日高町日置65-1 担当/丸岡・三浦